

手順は以下のとおり。

- 1) インストールファイルのアップロード
- 2) データベースの作成
- 3) ローダーの設置
- 4) NEOのインストール

1) インストールファイルのアップロード

インストールに必要なファイル一式をサーバにアップロードする。

今回は、

/home/hogehoge/www/public/test

以下にアップロード。

neoディレクトリのパーミッションは777にする。

2) データベースの作成

以下のようにデータベースを作成する。データベース名、ユーザ名、パスワードは控えておく。

ここでは、ユーザー名を「blackhare36」、データベース名を「blackhare36_neo」として
いるので、ご自身で決めたものに読み替えて進めてください。

データベース新規作成

キャンセル

⚠️ ご注意

- ネットワーク経由でデータベースへ接続する場合は、暗号化(SSL)接続の利用を推奨します。
- データベースや、管理ツールのご利用については、サポート外とさせていただきます。
- データの喪失・誤操作による問題については責任を負いかねます。

データベースバージョン	5.7	
データベース名 <small>必須</small>	blackhare36_ neo	作成後データベース名の変更はできません。
データベースユーザ名	blackhare36	
データベース 接続用パスワード <small>必須</small>	*****	英字/数字/記号(-)を組み合わせた8文字以上32文字以内
データベース 接続用パスワード再入力 <small>必須</small>	*****	
データベース 文字コード	UTF-8 (utf8mb4)	

作成についての注意事項

⚠️ ご注意

- データベースのご利用については[こちら](#)をご確認ください。
- インストールされるデータベースの基本情報は[こちら](#)をご確認ください。
- ご利用にあたっては「[注意制限事項](#)」に同意いただく必要がありますので、あらかじめご確認ください。
- 同意いただける場合は[同意する]にチェックを入れて[作成する]ボタンをクリックしてください。

同意 必須

同意する

作成後、一覧が出るので、サーバ名を控えておく。

 データベースサーバ mysql57.blackhare36.sakura.ne.jp (mysql1019.db.sakura.ne.jp) 5.7	ユーザ名 blackhare36	設定
	接続先パスワード *****	phpMyAdminログイン 🔗
	全データベース使用容量 0B / 1.50GB	
データベース名 blackhare36_neo		使用量 0B 削除

3) ローダーの設置

ブラウザから、アップロードしたneo.htmlにアクセスする。

今回は以下。

<http://blackhare36.sakura.ne.jp/neo.html>

以下について、説明しています。

- インストール手順
- その他 インストール関係注意事項
- インストールが正常に終わらない時のための対処

インストール手順

1. NEOで利用するためのデータベースをご用意ください。
2. [PHPのパスをご確認ください。](#)
3. 同じ階層にある「[neo](#)」フォルダのパーミッションを777にしてください。
4. [ここをクリックしてインストールを開始してください。](#)

その他 インストール関係注意事項

- [インストールマニュアルはこちらをご覧ください。](#)
- [phpの設定情報の確認](#)
- [NEOを再インストールでご利用の場合の注意](#)
- [専用サーバ、VPSでご利用される場合](#)
- [インストール手順4でサーバエラーが表示される場合](#)

レンタルサーバー情報

このソフトを設置するレンタルサーバー、サーバー種別を選択してください。

レンタルサーバー：	<input type="text" value="選択してください"/> <input type="button" value="▼"/> 選択肢にご利用のレンタルサーバーがない場合は、名称を
サーバー種別：	<input type="text" value="共用サーバ"/> <input type="button" value="▼"/>
PHPのパス：	<input type="text" value="/usr/bin/php"/>

ローダー

ローダーの組み込み方を選択してください。

組み込み方：	<input type="text" value="php.iniに組み込む"/> <input type="button" value="▼"/>
--------	--

※[php.iniに組み込む場合は必ずご覧ください](#)

NEOでは、PHPスクリプトの最適化のため、[ローダー](#)を必要とします。

ローダーについては、PHPスクリプトから動的に読み込む方法と、php.iniに設定する方法がございます。サーバ負荷を考えると、php.iniに設定するほうがよいと思いますので、専用サーバやVPSなど php.ini?

[php.iniへのローダーの組み込み方](#)

以下のリンクのどれかからローダをダウンロードする。

php.iniへのローダーの組み込み方

1. 以下のリンクよりローダーファイルをダウンロードしてください。(どの圧縮

- [zip](#)
- [tar.gz](#)
- [tar.bz2](#)

2. ご利用のサーバーの適当なディレクトリに ioncube ディレクトリを作成して
なお、この説明では、/usr/local 以下にioncubeディレクトリを作成することに読み替えてください。

3. ダウンロードしたファイルを解凍し、すべてのファイルをご利用のサーバの

ダウンロードしたローダを解凍し、サーバの
/home/blackhare36/www/ld/
以下にアップロードする。

次にサーバのコンパネよりphp.iniの設定を行う。



PHPiniファイル設定

PHPのユーザ設定ファイル(`php.ini`)の編集ツールです。WEB公開フォルダに `php.ini` を設置し

⚠️ ご注意

- 言語の設定変更はすべて【上級者向け】です。
- 言語に関する仕組みが理解できない場合は「標準」のままご利用ください。

php.iniファイルパス：`/home/blackhare36/www/php.ini`

```
zend_extension =  
/home/blackhare36/www/ld/ioncube_loader_fre_7.4.so  
|
```

保存する

なお、設定するファイルについて。

パスは、ローダをアップロードしたディレクトリ。

`/home/blackhare36/www/ld/`

とする。ローダファイルは、以下の画面の青枠部分にあるファイルを指定する。

php.iniへのローダーの組み込み方

1. 以下のリンクよりローダーファイルをダウンロードしてください。(どの圧縮形式でもかまいません)
 - [zip](#)
 - [tar.gz](#)
 - [tar.bz2](#)
2. ご利用のサーバーの適当なディレクトリに `ioncube` ディレクトリを作成してください。
なお、この説明では、`/usr/local` 以下に `ioncube` ディレクトリを作成することとします。違うディレクトリに読み替えてください。
3. ダウンロードしたファイルを解凍し、すべてのファイルを ご利用のサーバーの `/usr/local/ioncube` ディレクトリにコピーしてください。
4. `/home/rs/php/7.4/etc/php.ini` を編集し、以下の行を追加してください。
`zend_extension = /usr/local/ioncube/ioncube_loader_fre_7.4.so`
5. `apache(httpd)`を再起動してください。
6. [ココ](#)をクリックしてローダーの動作テストをお願いします。

※使えるネットをご利用の場合は、[こちら](#)をご覧ください

最後に、インストールスクリプトで以下のリンクをクリックして、組み込み結果を確認する。

php.iniへのローダーの組み込み方

1. 以下のリンクよりローダーファイルをダウンロードしてください。

- [zip](#)
- [tar.gz](#)
- [tar.bz2](#)

2. ご利用のサーバーの適当なディレクトリに ioncube ディレクトリを
なお、この説明では、`/usr/local` 以下にioncubeディレクトリを作成
に読み替えてください。

3. ダウンロードしたファイルを解凍し、すべてのファイルをご利用の

4. `php.ini` を編集して以下

```
zend_extension = /usr/local/ioncube/ioncube_loader_lin_5.1.so
```

5. apache(httpd)を再起動してください。

6. [ココ](#)をクリックしてローダーの動作テストをお願いします。

[※使えるネットをご利用の場合は、こちらをご覧ください](#)

以下のように表示されたら完了。

php.iniへのローダーの組み込みテスト

組み込み成功

※PHPのバージョンについてはデフォルトのものを利用します。2020/10/12時点では以下
となっています。

PHPのバージョン

⚠ 提供終了のご案内

2020年11月末日PHPバージョン7.2、2021年2月末日PHPバージョン7.2, 4.4をご利用中の場合、その時点での最新バージョンに上記の期日までにPHPバージョンのアップデートをお願いします。

PHP提供ポリシーについての詳しい情報はサポートサイト [☑](#) をご覧ください。

現在の設定

7.4.10 (モジュールモード)

設定

変更しない

モード

4) NEOのインストール

インストールスクリプトに戻る。以下の部分だけ設定して次に進む。

レンタルサーバー情報

このソフトを設置するレンタルサーバー、サーバー種別を選択してください。

レンタルサーバー:

さくらインターネット ▼ さくらインターネット

選択肢にご利用のレンタルサーバーがない場合は、名称をご記入ください。

サーバー種別:

共用サーバ ▼

PHPのパス:

/usr/local/bin/php

ローダー

ローダーの組み込み方を選択してください。

組み込み方:

php.iniに組み込む ▼

※php.iniに組み込む場合は必ずご覧ください

NEOでは、PHPスクリプトの最適化のため、ローダーを必要とします。

ローダーについては、PHPスクリプトから動的に読み込む方法と、php.iniに設定する方法がございます。

サーバ負荷を考えると、php.iniに設定するほうがよいと思いますので、専用サーバやVPSなど php.iniを修正できる場合は、php.iniを付 [php.iniへのローダーの組み込み方](#)

次へ »

mail-neo.comのログイン情報を入力する。

ソフト一式ダウンロード

ソフト一式をダウンロードし、サーバに設置します。mail-neo.comのロ

メールアドレス	<input type="text"/>
パスワード	<input type="password"/>
<input type="button" value="次へ »"/>	

NEOのログインパスワードと、(2)で設定・確認したmysql関係の情報を設定する。

管理者ログインパスワード

このソフトにログインする際に必要となるパスワードを設定してください。

管理者ログインパスワード:

半角英数字4~12字で、ご希望のパスワードを設定してください。

データベース情報

データベースの設定情報を入力してください。

1)サーバー/ホスト:

ポート番号を指定する場合は「localhost:3306」のように記述してください。

2)データベース名:

すでに存在している場合、一旦削除され、新規に作成されます。

3)ユーザー名:

データベース作成や権限を与えることができるユーザ名を指定してください。

4)上記ユーザーのパスワード:

データベースを上書きするかどうかを選択してください。

データベースを上書きするか:

▼

通常は「はい」を選んでください。

PHPのバージョンアップの影響でログインできなくなった場合など、データベースの内容を上書きしたくない場合は、「いいえ」を選んでください。

以下の画面が出たらインストール完了です。

インストール完了

システムのインストールが完了しました。
安全な利用のため、以下の処理を必ず行ってください。

- /home/blackhare36/www/neo.htmlは、サーバ上から削除してください。
- このファイル (/home/blackhare36/www/neo_install_system.php) は、サーバ上から削除してください。

上記の処理が終わったら、[こちらのページより、さきほど設定した管理者ログインパスワードで必ずログインしてください。](#)

インストール時にアップロードしたneo.htmlやneo_install_system.php、README.txtは削除して、neoディレクトリについてはパーミッションを705等に変更してください。

その後、上記画面の赤枠のリンクに進むとNEOが表示されます。